

労働環境改善スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定		9月		10月				11月			12月	1月	2月	3月	4月以降	備 考		
					22	29		6	13	20	27	上	中	下	上	中	下	上		中	下
防 護 装 備	1	防護装備の適正化検討	(実 績) ・DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進 (予 定) ・DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進 ※管理対象区域を3つのゾーンに区分し、各区分に応じた防護装備を着用することで、作業時の負荷軽減による作業性の向上を図る	現場作業					DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進											(継続実施)	
ヒューマンエラー防止	2	ヒューマンエラー発生防止	(実 績) ・安全衛生推進協議会の開催：協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等 (予 定) ・安全衛生推進協議会の開催：協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等	現場作業					協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等											(継続実施)	四半期毎に実施している不適合やヒューマンエラーの分析結果を踏まえ、安全衛生推進協議会にて四半期に一回程度、協力企業に対しヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等を啓発
人 身 安 全	3	重傷災害撲滅、全災害発生状況の把握	(実 績) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全衛生推進協議会の開催：災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施（TBM-KY等） ・熱中症予防対策の実施（4～10月） (予 定) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全衛生推進協議会の開催：災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施（TBM-KY等） ・熱中症予防対策の実施（4～10月）	現場作業					情報共有、安全施策の検討・評価											(継続実施)	
									熱中症予防対策の実施(4～10月)												
労働環境改善	4	長期健康管理の実施	(実 績) ・検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き (予 定) ・検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き ・2024年度対象者（社員）への「白内障検査」（柏崎刈羽）実施 ・2024年度対象者（社員）への「白内障検査」（本社）実施	現場作業					健康相談受付											(継続実施)	
									【検査受診期間】検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き										(継続実施)		
										社員・白内障検査(柏崎刈羽)											
健康 管理																					
	5	継続的な医療職の確保と患者搬送の迅速化	(実 績) ・1 F 救急医療室の勤務医師調整 (予 定) ・1 F 救急医療室の勤務医師調整	検討・設計					1F救急医療室の勤務医師調整											(継続実施)	
	6	感染症対策の実施	(実 績) ・インフルエンザ予防接種の実施 (予 定) ・インフルエンザ予防接種の実施	現場作業					インフルエンザ予防接種の実施												
要員管理	7	作業員の確保状況と地元雇用率の実態把握	(実 績) ・作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計 (予 定) ・作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計	検討・設計					作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計											(継続実施)	
労働環境改善	8	労働環境・就労実態に関する企業との取り組み	(実 績) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡（処遇・労働条件等）への対応 ・作業員へのアンケートによる実態把握 (予 定) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡（処遇・労働条件等）への対応 ・作業員へのアンケートによる実態把握	検討・設計					労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握、解決策の検討・実施・結果のフィードバック											(継続実施)	
									実績追加 回収(10/15)												
										作業員へのアンケート(第15回)											

活動分野		作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定		9月		10月		11月		12月	1月	2月	3月	4月以降	備考
					22	29	6	13	20	27	上	中	下	上	中	下

鹿炉中長期実行プラン2024

年度	2023(実績)	2024	2025	2026	2029	2035
その他		管理対象区域内の企業様整備（計画的に順次整備する）				

注：今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る

<凡例>

: 作業の期間

: 変更が見込まれる期間

: 工程間の関連

: 追加した工程

: 変更/異体化した工程

: 実施を取り止めた工程

: リスクマップに関連する工程

The map displays various zones and facilities within a management target area. The legend indicates:

- R zone [アノラックエリア] ※1 (Red outline)
- Y zone [カバーオールエリア] ※2 (Yellow outline)
- G zone [一般服エリア] ※3 (Green outline)
- 連続ダストモニタ (Blue circle icon)

Facilities labeled on the map include:

- 1号機廃炉 (2.5m層)
- 3号機廃炉 (2.5m層)
- 2号西側 (0.5m層)
- H11南側 (0.5m層)
- 3号機南側
- シールド中央制御室
- Hタンクエリア
- 正門警備所
- 登録センター
- 旧5、6号機出入管理所
- 旧厚生棟
- 旧燃料棟 (0.5m層)
- 1・2号機法面
- 3・4号機法面
- 免震置置棟

Footnotes at the bottom:

- ※1 1～3号機原子炉建屋内、及び1～4号機タービン建屋並びに風洞建屋のうち滞留水を保有するエリア
- ※2 上記以外においてもG zone内で高濃度粉じん作業（炭素粉末等）や濃相塩水等のタンク移送ラインに関わる作業等を行う場合は、Y zoneを一時的に設定する。
- ※3 図中のG zoneの概、共用プール建屋の一部エリアも対象とする。

管理対象区域の運用区分 レイアウト

提供：日本スペースイメージング、